

<幼児教育学科> (認定課程:幼稚園教諭二種免許状)

(1)各段階における到達目標

	履修年次		到達目標
	年次	時期	
2年コース	1年次	第1学期	○大学生としての基礎力を身につけるとともに、保育士・幼稚園教諭をめざすために必要な基礎知識と基本的スキルが身についている。また2学期の保育実習に向けて幼児教育学科の学生として求められる基礎知識・スキルを確実に修得している。
		第2学期	○保育者をめざすことの意義を再確認し、保育者としての責任を自覚することで「教育・保育」の基本理念が身についている。また保育実習を通して乳幼児の実態にふれ、今後の施設実習、幼稚園教育実習へ向かうにあたっての意思や課題が確認できている。
	2年次	第1学期	○幼稚園教育実習指導の受講を通して、幼稚園教諭をめざす自己を再確認する。そのうえで、指定幼稚園の教育実習を行い、これまで学んできた理論を検証することができる。また各自が身につけてきたスキルの実践を通して、これまでの学びを俯瞰的にふり返り自らの課題を確認するとともに、自ら何に取り組むべきかを考え、実行に移すことができる。
		第2学期	○幼稚園教育実習における学びを通して、幼稚園教諭としての実践的指導力を身につけ、保育実習での学びや科目における理解と総合して、幼児教育・保育の実践的指導力をさらに高めることができる。「幼児教育研究」「保育・教職実践演習」とともに「保育内容(理論)」を軸に学び全体をまとめることができる。「保育・教職実践演習」において、履修カルテを通して1年次からの成長をふり返り、保育者としての専門性が一定レベルに到達していることを確認し、保育者に向けた自己を確立することができる。
3年コース	履修年次		到達目標
	年次	時期	
	1年次	第1学期	○大学生としての基礎力を身につけるとともに保育士・幼稚園教諭をめざすために必要な基礎知識と基本的スキルが身についている。また2学期の保育実習に向けて幼児教育学科の学生として求められる基礎知識・スキルを確実に修得している。
		第2学期	○保育者をめざすことの意義を再確認しつつ、保育者としての責任を自覚することで「教育・保育」の基本理念が身についている。また保育実習を通して乳幼児の実態にふれ、今後の施設実習、幼稚園教育実習へ向かうにあたっての意思や課題が確認できている。
	2年次	第1学期	○幼稚園教諭・保育士として身につけておかなければならない科目内容の知識・理解を深め、特に保育内容や実習指導の科目での学びを中心に、専門的知識及び実践的指導力を身につけることができる。
		第2学期	○幼稚園教諭・保育士として身につけておかなければならない科目内容についての知識・理解を深め、特に保育内容や実習指導の科目での学びを中心に、専門的知識及び実践的指導力を身につけることができる。また保育実習、施設実習をふり返り、自らの課題を再確認し、進むべき学びの専門的方向を考えることができる。
3年次	第1学期	○幼稚園教育実習指導の受講を通して、幼稚園教諭をめざす自己を再確認する。そのうえで、指定幼稚園で教育実習を行い、これまで学んできた理論を検証することができる。また各自が身につけてきたスキルの実践を通して、これまでの学びを俯瞰的にふり返り自らの課題を確認するとともに、自ら何に取り組むべきかを考え、実行に移すことができる。	
	第2学期	○幼稚園教育実習における学びを通して、幼稚園教諭としての実践的指導力を身につけ、保育実習での学びや科目における理解と総合して、幼児教育・保育の実践的指導力をさらに高めることができる。「幼児教育研究」「保育・教職実践演習」とともに「保育内容(理論)」を軸に学び全体をまとめることができる。「保育・教職実践演習」において、履修カルテを通して、1年次からの成長をふり返り、保育者としての専門性が一定レベルに到達していることを確認し、保育者に向けた自己を確立することができる。	